

肝臓の様子を見てください。  
肝炎で変化がある場合、  
専門医に見てもらうことをおすすめします。

## A. 見い出す。

何が違う?

・乙肝患者さんから「様子を見まつた」



B型肝炎で見られる異常所見

検査・治療費用には助成制度があります。

助成制度適応には条件があります。詳しくは千葉県までお電話を。

**043-223-2665** 千葉県 健康福祉部 疾病対策課

お近くの肝臓専門病院をご案内します。「千葉 肝炎 指定」で検索  
**千葉県の肝臓相談窓口にお電話を**  
月～金(祝日は除く)  
14:00～17:00

**043-226-2717**

千葉大学医学部附属病院  
千葉県肝疾患相談センター事務局

このリーフレットは、平成29年度厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究班で作成されました。



肝死



肝硬変



慢性肝炎



正常

一般的な肝死



“死んで生きる”  
正常な肝臓が突然死んでしまう

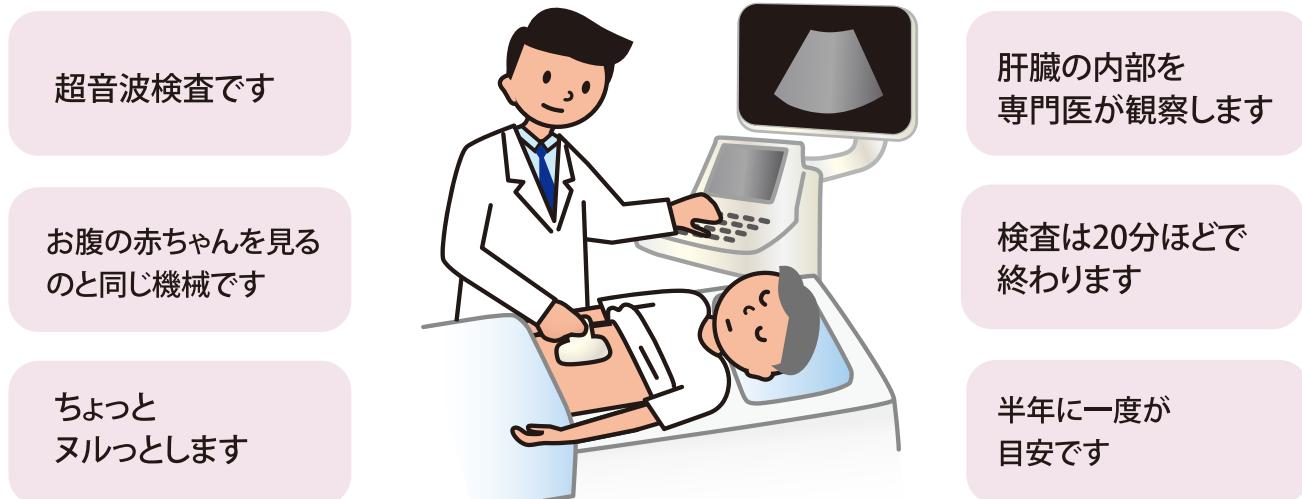


B型肝炎で見られる  
特有の肝死

自覚症状がない、肝機能の数値が異常に高いまま、日々の進行で死んでしまうことがあります。

“死んで生きる”を見逃さない!

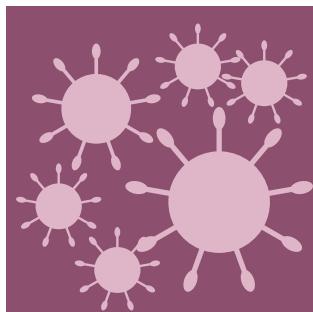
# 肝がんを初期のうちに見つけられるのは、肝臓の専門医です。



検査を受けられる医療機関、費用などについては裏面をご覧ください。

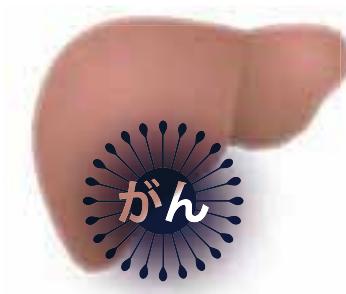
## “健康キャリア”として、一生すごすのが最善です。

### ウイルスの暴走を見逃さないで。



B型肝炎ウイルスは多くの場合、キャリアの体内で眠ったようにおとなしくしています。ところが感染から何十年もたって突然暴れだし、がんを引き起こすことがあります。肝臓はとても我慢強い臓器なので、なかなか自覚症状は出ません。自覚症状が出たときには、すでに末期がんというケースも多いのです。感染から何年たっていても、油断できません。

### 初期の肝がんなら、勝ち目があります。



肝臓は食事から吸収した栄養を身体が必要とする物質に変えたり、有毒物質を解毒するという重要な役割を持っています。「体内的化学工場」と言うべき、もっとも大きな臓器です。ですから、がんが小さいうちであれば、がんと一緒に肝臓を部分的に切除しても、残った肝臓が十分な機能を保つて、健康を取り戻せる可能性は高いといえます。

## 初期の肝がんを見逃してしまうと起こること。

### 自覚症状

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、がんが発生してもなかなか自覚症状は現れません。しかし末期がんまで進むと、著しい体重減少、全身のかゆみ、むくみ、疲労感などの多様な症状が現れます。

### 肝性脳症

肝臓の有毒物質を解毒する能力が低下することで、脳の神経が有毒物質に冒される「肝性脳症」という症状が出ることがあります。認知症のような状態になり、昏睡状態に陥ったりします。

### 打つ手なし

肝臓にがんが広がってしまうと、切除手術は行なえません。肝臓は重要な臓器で、切除できる部分は限られているからです。また、肝臓は放射線に弱く、化学療法も効きにくいとされています。

### 長い戦い

がんというと治療のつらさを連想する方が多いでしょうが、肝がんは進行してしまうと治療はとても難しく、行える治療方法がない場合があります。そうなると、進行する症状との長い戦いになります。